

県議会議員

あらい、絹世の「磯っ子」レポート

夢と希望のある神奈川を



<http://www.araikinuyo.jp>

常任「産業労働」、特別「安心安全」 本年度の所属委員会決まる

5月25日に開かれた神奈川県議会2021年度第2回定例会の本会議で本年度一年間、活動の舞台となる常任委員会と特別委員会の所属先が決まりました。常任委員会は昨年が続いて産業労働常任委員会の委員、特別委員会は安全安心特別委員会の委員です。また自民党神奈川県議団では政務調査会の筆頭副会長に就任することになりました。主たる役目は本会議における自民党の代表質問について調整するものです。同常任委員会の審査対象となる部局は県の産業労働局と労働委員会です。コロナウイルス禍の中で産業労働部門への影響も少なくないことから、本年度の県の当初一般会計予算の中で産業労働分野の予算は、昨年度の一般会計当初予算より大幅に増額され約414億円と2倍余になっており、そのうちの265億5586万は「新型コロナウイルス感染症対策事業」です。

産業労働局では本年度の主要施策として12の項目を掲げており、この項目と予算額を紹介してみます。

- ①【感染症防止対策等事業継続に向けて取り組みへの支援】38億4378万円（中小企業・小規模企業感染症対策事業費補助、アクリル板貸し出し事業費など）
- ②【中小企業の資金繰り支援】2020年度より400億円増額して3000億円に。
- ③【需要喚起対策】75億円（2020年度からの繰越）県内の対象店舗でキャッシュレス決済をした消費者に対し20%のポイント還元（1人当たりの上限4000円）を行う、商店街等プレミアム商品券支援事業費補助1億円など。
- ④【成長支援】DXプロジェクト推進事業費7512万円、成長期ベンチャー支援事業費6000万円、新型コロナウイルス感染症対策ロボット実装事業費6731万円。
- ⑤【就業支援】2億1337万円（若年・中高年齢者の就業体制の強化、就職氷河期世代への就業支援）
- ⑥【働き方改革の推進】1億2800万円（テレワーク導入経費等への補助、アドバイザーの派遣、サテライトオフィス整備への補助）
- ⑦【かながわスマートエネルギー計画の推進】5億5943万円
- ⑧【県内企業の活性化】279億8356億円
- ⑨【成長産業の創出・育成】37億9273万円
- ⑩【企業誘致などによる産業集積】14億8840万円
- ⑪【労働施策の推進】23億3606万円（働き方改革の推進、就業支援の推進、障がい者雇用の促進など）



コレが言いたい!

昨年引き続き産業労働常任委員会の所属が決定しました。先日、20年度の実質GDPが公表され、事実上、戦後最悪の落ち込みとなり、今後はコロナ禍で苦しむ中小企業・小規模企業者への支援や就業支援などが喫緊の課題です。また、アフターコロナ時代を見据えて、テレワークの推進などの働き方改革や今後の県経済活性化のための成長産業の創出や企業誘致など、所管する事業はコロナ禍の中で大変重要なものとなっています。県内の雇用や経済を守るため、この一年も当委員会でしっかりと議論してまいります。

今月のひと言

5月17日（月）から7月13日（火）まで令和3年第2回定例会が開会されています。6月4日（金）には産業労働常任委員会が、6月18日（金）からは代表質問が行われます。

磯子あれ？これ？

願行寺 (磯子区中原)

武蔵新編風土記稿には横浜市神奈川区にある成佛寺の末寺で、梅照山海蔵院とあります。詳細は不明ですが、永仁元(1292)年頃に臨済宗の法燈円明國師覚心かくしんが開山したと言われています。その後、住僧諦譽存廓そんかくが寛文～延宝年間(1661～1681)に浄土宗に帰依して改宗しました。当寺が改宗された背景は――。鎌倉時代に南武蔵国(関東地方)に真言宗や禅宗の寺が多く在りましたが、室町後期になると浄土宗の寺が進出を始め江戸時代に入ると徳川家の勢力拡大があり、更に信仰していた浄土宗の勢力が増したものと云えます。浄土宗の寺院では10月～11月にかけて行われる秋の念仏行事で、「十夜法要」があります。かつて願行寺では毎年10月22日に中原村の檀家は勿論、そうで無い家や近在の人たちもお参りに訪れて、夕方から法要が始まり、休みを取りながら念仏を繰り返して夜を明かすことが十日間続きました。昭和19年、戦時による金属類の供出で双盤や梵鐘もその対象となり、加えて戦火が激しくなったことからやがて一日の法要となり、近隣の寺院とお勤めをしています。

参考:横浜市史稿仏寺編、横浜市寺社案内(猫の足あと)、磯子の史話、住職の話

新型コロナワクチンの接種に便乗したトラブルや悪質商法には注意が必要です。

自治体で新型コロナワクチンの予約や接種が開始されたことから、自治体職員をかたり、「ワクチン接種の予約を代わりに申請する」と来訪してきたり、「ワクチン接種の説明に行く」と電話をかけ、来訪しようとする事例がみられます。自治体が「ワクチン接種に必要」などと言って個人情報や金融機関情報などを電話やメールで聞くことはありません。少しでも「おかしいな?」、「怪しいな?」と思ったり、不安な場合は国民センターの「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」にご相談下さい。



「国民生活センターHPより」

相談受付時間 10時～16時
(土曜、日曜、祝日を含む)

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株)/株メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成31年4月 県議会議員3期目当選
- 産業労働常任委員会委員
- 安全安心特別委員会委員
- 自民党県議団政務調査会筆頭副会長
- かながわ自民党女性議員局長

